

さいおんじ
西園寺げんとお
源透 (1864~1947)

郷土史研究者。宇和郡川内村(現、宇和島市)出身。6歳のとき、宇和郡富野川村(現、西予市)の西園寺家に迎えられ、27歳のとき、合併して新たにできた東宇和郡中筋村(現、西予市)の初代村長となった。さらに郡会議員・県会議員などを歴任し、また会社役員なども務め、愛媛の政財界で活躍した。

大正3(1914)年、景浦稚桃らと「伊予史談会」を設立して郷土史の研究に専念し、県内各地をめぐって研究の上で重要な古文書や絵図面などの史料収集に尽力した。それら史料の研究による源透の編著の多くは、県立図書館と、松山大学の富水文庫に所蔵され、今なお学界に役立っている。また、その進取的態度は、郷土史研究者の手本になっている。

略歴

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| 元治元(1864)年3月10日 | 宇和郡川内村に、庄屋・大野金十郎正武の五男として生まれる。 |
| 明治2(1869)年 | 宇和郡富野川村の西園寺源瑞の養子となる。 |
| 明治23(1890)年3月23日 | 27歳で初代中筋村長となる。 |
| 明治25(1892)年 | 県会議員となる。 |
| 明治32(1899)年 | 郡会議員となる。以後何度か議員になる。 |
| 明治36(1903)年 | 再度県会議員となる。 |
| 明治41(1908)年 | 松山に移り、松山電気軌道株式会社や小倉薬館の支配人となる。 |
| 大正3(1914)年 | 景浦稚桃らと「伊予史談会」を設立 |
| 昭和20(1945)年 | 疎開のため帰村。 |
| 昭和22(1947)年12月6日 | 老衰弱症のため84歳で永眠。墓所は西予市野村町富野川の旧居近くにある。 |

(写真提供：西予市中筋公民館)

〈関連図書〉

- ・中筋郷土誌編纂委員会『中筋郷土誌』野村町中筋公民館 1979年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・野村町誌編纂委員会『野村町誌』野村町 1997年
- ・熊谷正文『西園寺源透』西園寺源透伝記刊行会 2004年

〈主な収蔵資料〉…(P194~195, 6~8)

〈ゆかりのある場所〉…(P269, 23)